

## 人事を尽くして天命を待つ

3月4日（水）、岩手県立高等学校入試の日を迎えました。当日はあいにくの雪模様でしたが、前日の天気予報ほどの降雪量ではなく、全員無事に会場入りし、入学試験に臨みました。

思い返してみれば、3年生は朝登校してからすぐに学習に取り組んでいる生徒が多かったように思います。授業の間の休み時間の使い方も、受験生らしい工夫が見えました。普段の会話から聞こえてくるのは、「高校に入ったら～」、「入試の時は～」、「卒業までは～」と先を見据えた枕詞に続くそれぞれの思い。そんな日々を過ごしながら、出来る限りの努力をしてきたことと思います。

入試が終わった次の日の3年生の表情は、晴れやかな顔が多く見られました。「やるだけは、やりました。」、「最後まで粘って、粘って、時間いっぱい答案用紙に向かいました。」など、ほっとした笑顔で報告してくれました。あとは、16日（月）の合格発表を待つのみですね。尽

くしてきた努力が、16の大輪の花々を咲かせることを期待しながら合格発表の日を待ちたいと思います



## 3年生の皆さんありがとう～笑顔と感動の三送会

3月6日（金）の5・6時間目、1・2年生企画の「3年生を送る会」が開催されました。会の前半は、全校レク。実は今年度、全校レク企画はあったのですが、その時々事情があって実施できずにいました。最後の最後に、やっと実現することができました。川崎中学校は、全校縦割り清掃や全校給食、全校道徳など、学年を越えて全校で取り組むことを大切にしてきましたので、レクに臨む姿は楽しそうな満面の笑顔に溢れていました。会の後半には1・2年生から組団応援パフォーマンスが披露され、川中のバトンを引き継ぐ決意を感じて、胸が熱くなりました。共に過ごす日も、あと5日。互いへの感謝の気持ちを表しながら、思い出に残る日々にしてほしいと願っています。

